

松江市の観光C 玉造温泉



4班 大庭麻未 大空ゆかり 岡田紀笑
佐竹竜弥 佐々木海斗

概要

- ・玉造温泉は松江市玉湯町にある。
- ・由来は、この地域が玉(勾玉)作りに適している地域だから。
- ・奈良時代(天平5年(733年)2月30日)『出雲国風土記』に、美人の湯として書かれる。また平安時代(西暦1000年前後)には清少納言による『枕草子』の中でも、三名泉の一つとして書かれている。



引用 <http://www.asahi.com/travel/yunotabi/images/TKY200910080221.jpg>

出雲国風土記における記述

原文 忌部神戸 郡家正西廿一里二百六十步。國造、神吉詞奏、参向朝廷時、御沐之忌玉作。故云忌部。即川邊出湯。出湯所在兼海陸。仍男女老少、或道路駱驛、或海中沿州、日集成市、紛續燕樂。一濯則形容端正。再浴則万病悉除。自古至今、無不得驗。故俗人曰神湯也。

訳 忌部神戸 郡家の正西二十一里二百六十歩(正西21里260歩)の所にある。国造(こくぞう)が神吉詞(かんよごと)を唱えに朝廷に参上する時に、潔斎に用いる清浄な玉を作る地である。だから、忌部という。**此処の川のほとりに温泉(ゆ)が湧いている。**それで男も女も老人も子供も、あるいは道路を行き交い、あるいは海中を浜辺に沿って行き、毎日集まり市がたったような賑わいで、入り乱れて宴をして楽しむ。**一度温泉を浴びればたちまち姿も麗しくなり、再び浴びればどんな病気もすべて治る。**昔から今に至るまで、効き目が無いということはない。だから、**土地の人は神の湯と言っている。**

清少納言の枕草子にて

- 『枕草子』第117段に
「湯は、**ななくりの湯**(三重県・**榊原温泉**)、**有馬の湯**
(兵庫県・**有馬温泉**)、**玉造の湯**(島根県・**玉造温泉**)」
とうたわれており、「**三名泉**」の
一つとして評価している。



引用 http://www.officiallyjd.com/wp-content/uploads/2013/03/20130303_kyokasho_38.jpg

長楽園を調べた理由

- ・湯町窯同様、明治という古い時代から長い間玉造温泉の観光を支えてきた宿であるため。
- ・今でも皇族が泊まりに来るほど有名な宿であり、観光客を惹きつける魅力は何か知りたかったため。



湯之助の宿について

湯之助とは？

江戸時代、松江藩より任命された温泉の管理者のこと。
玉造温泉の元湯、公衆浴場の管理、湯賃の取り立てなどを任されていた。

長谷川家はその官職を賜り、玉造温泉の一切を取り仕切るほど強大な力を持っていたが、明治維新によってその体制が無くなる。

明治元年(1868年)に長楽園創業。その後、湯之助の末裔である長谷川定十(初代玉造村長)が長楽園初代社長に就任。

⇒「湯之助の宿」とは、湯之助の意志を引き継ぐ宿。

Q.長楽園といえば庭園が有名だが、どのように整備しているのか、また、現在も明治時代の風景を施設内や庭園で見ることにはできるのだろうか。

A.整備は自社の社員が行っている。庭が広いので一年を通して毎日必ずどこかに手を入れている。
建物、施設はすべて変わってしまったが、庭園は明治時代のものをそのまま継承している。もともとここは果樹園と庭園があったところで庭園部分はそれを残している。



Q.全ての温泉の元湯は他の旅館と同じか

A.長楽園や千代の湯など
3～4軒の旅館は自家
源泉を持っているが、
その他のほとんどの旅館
は、松江市が管理して
いる源泉から湯をひいて
いる。



龍宮の湯：日本一の露天風呂

長楽園公式サイトより

<http://www.choraku.co.jp/charm/>

Q. 伝統として引き継がれてきた長楽園の名物料理などはあるか？

A. 伝統的な料理はないが、料理長が四季折々に合わせた料理を考案している。



長楽園には多くの皇族が宿泊

- ・昭和57年(1982年)のくにびき国体の時に昭和天皇が泊まりました。
- ・使用したのは1回限り。
- ・今は皇族の方も一般の所にお泊り頂いている。

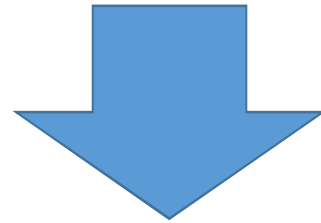


御座所の建物

長楽園のまとめ

庭園など、今でも毎日手入れをしており、明治時代からの風景を現在も引き継いでいる。

「湯の助」の宿としてのプライドと歴史を背負ってお客様へ接客している。



長楽園は玉造温泉の旅館の一つとしての役割を果たし、お客様に最高のおもてなしと、温泉を提供している。

玉造温泉の温泉街で観光客に 行ったアンケート調査



2017年6月3日(土)

6月11日(日)

回答者:48人

実施場所:温泉街全域

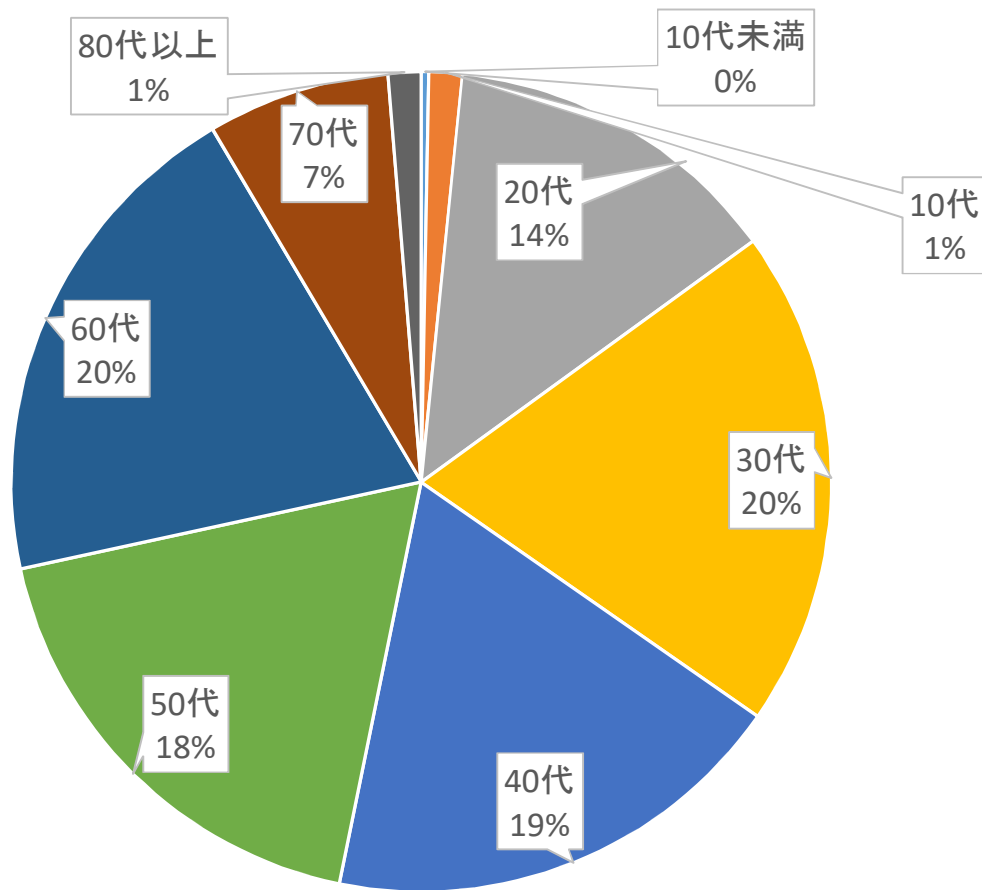
アンケート質問項目

- ①年代
- ②性別
- ③玉造温泉に来た理由
- ④出身県（島根県内の場合は市町村まで）
- ⑤交通手段
- ⑥玉造温泉に対する評価（「期待以上」、「期待通り」、「期待以下」の中から一つ）

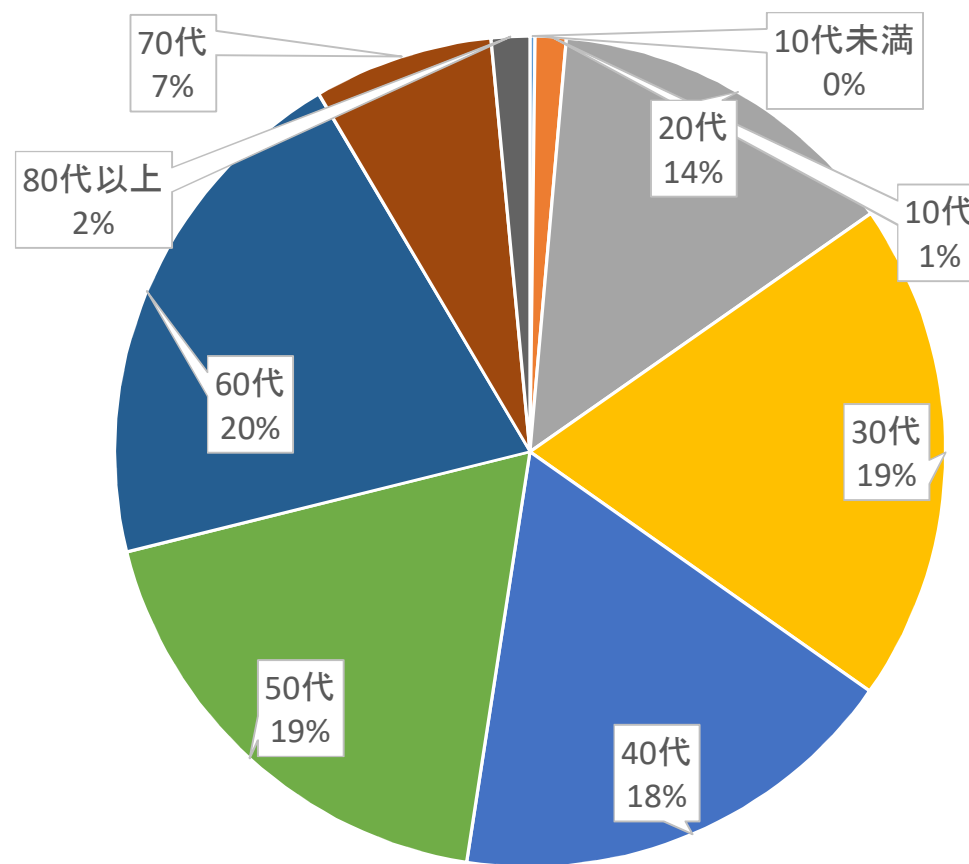
観光客の年齢層

(島根県観光動態調査より作成)

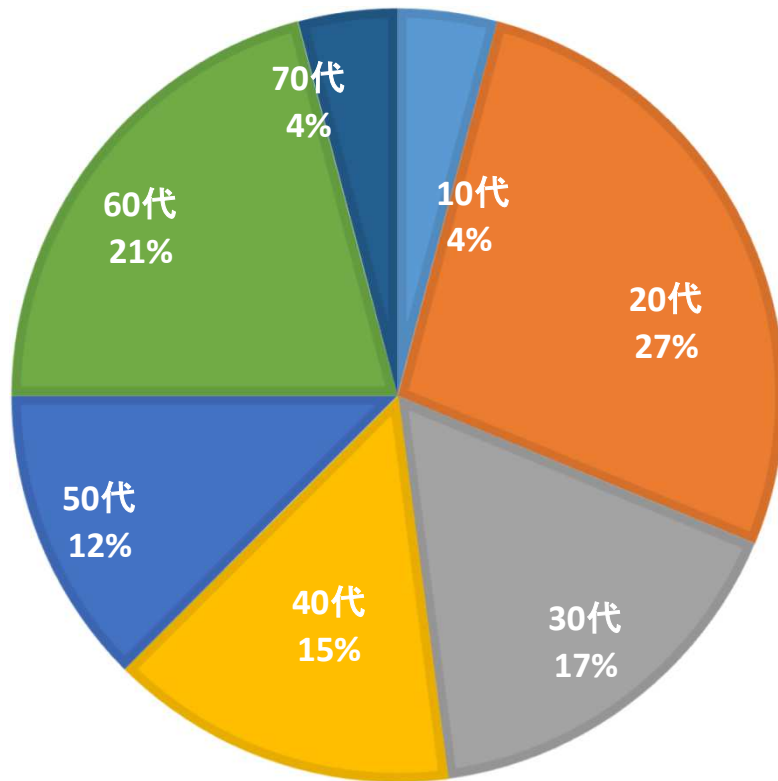
島根県全体(2016年、7310名)



島根県東部(2016年、5043名)



アンケート集計結果① 年代



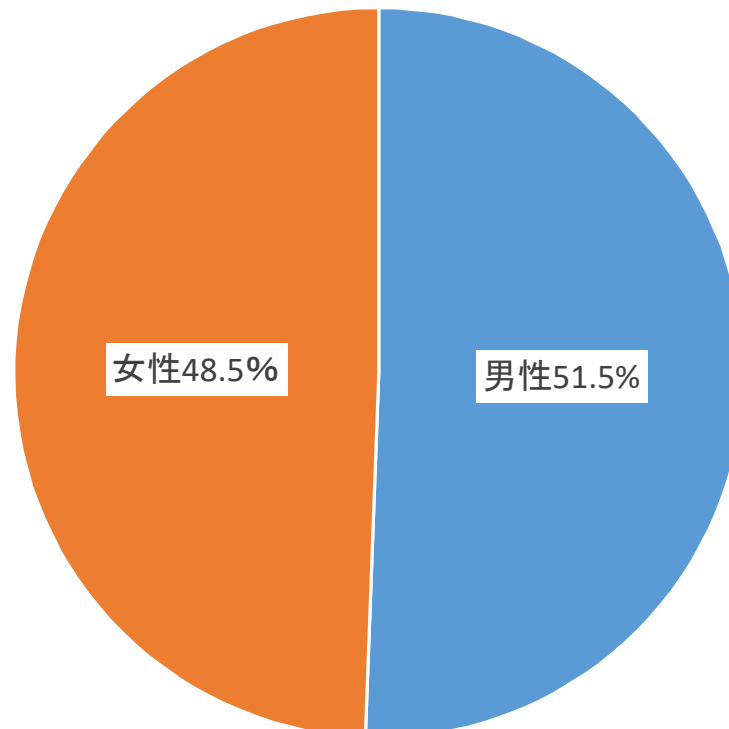
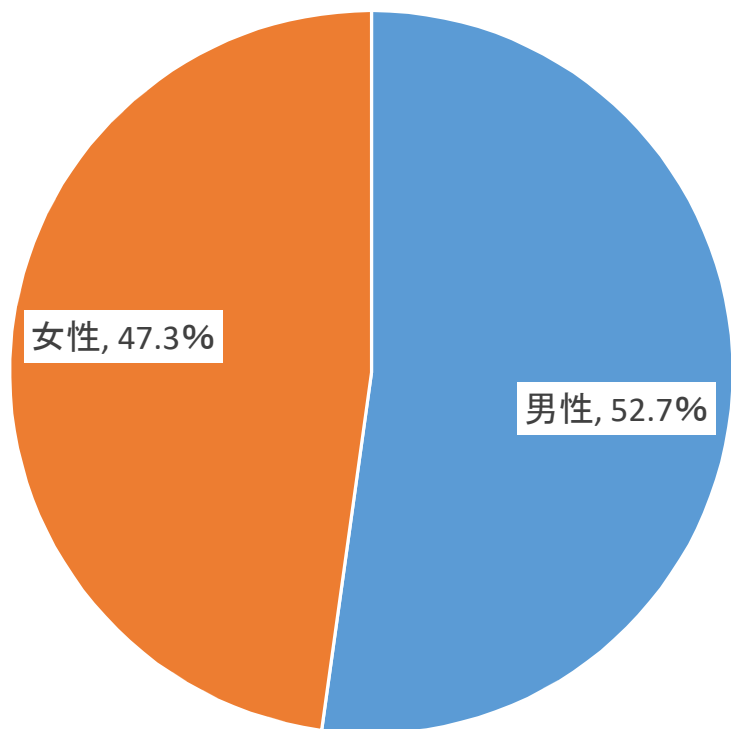
- 20代、60代が特に多い。
- 10代、70代はごく僅かである。
- 30代、40代、50代は20代、60代に次いで多い。

観光客の性別

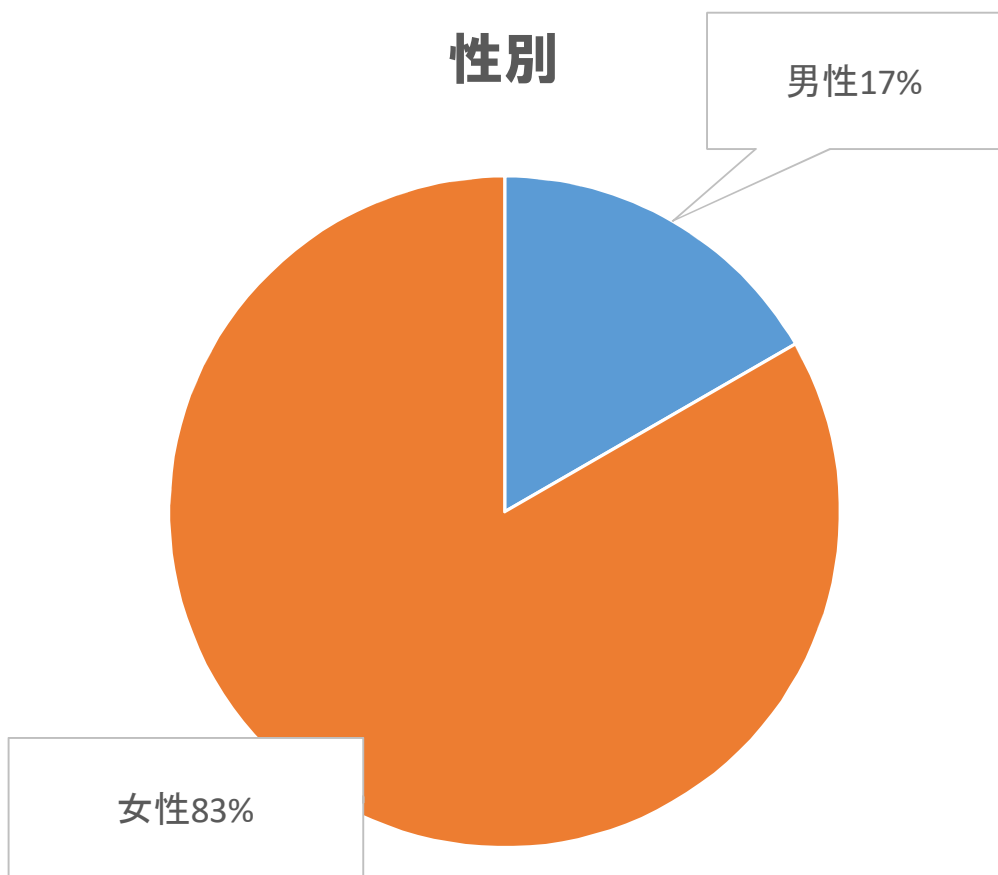
(島根県観光動態調査より作成)

島根県全体(2016年、7310名)

島根県東部(2016年、5043名)



アンケート結果② 性別



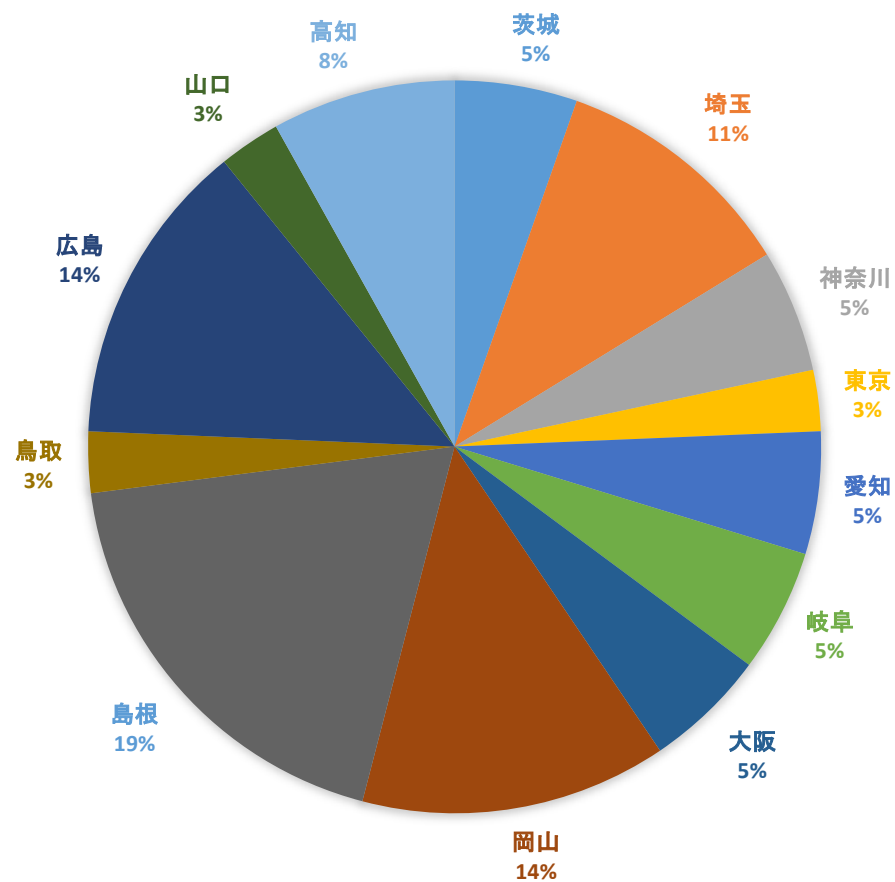
- 「美肌の湯」として有名ということもあって、(アンケート調査を行った個人客を見る限り)女性観光客が圧倒的に多くなっている。
- (アンケート調査を行った個人客を見る限り)男性のみで玉造温泉に来ることは少ない。

アンケート結果③ 玉造温泉に来た理由

- 出雲大社に行くついで。
- 玉作湯神社の御利益を受けに来た。
- 「美人の湯」に入りに来た。
- 手軽な旅行プランがあったから。

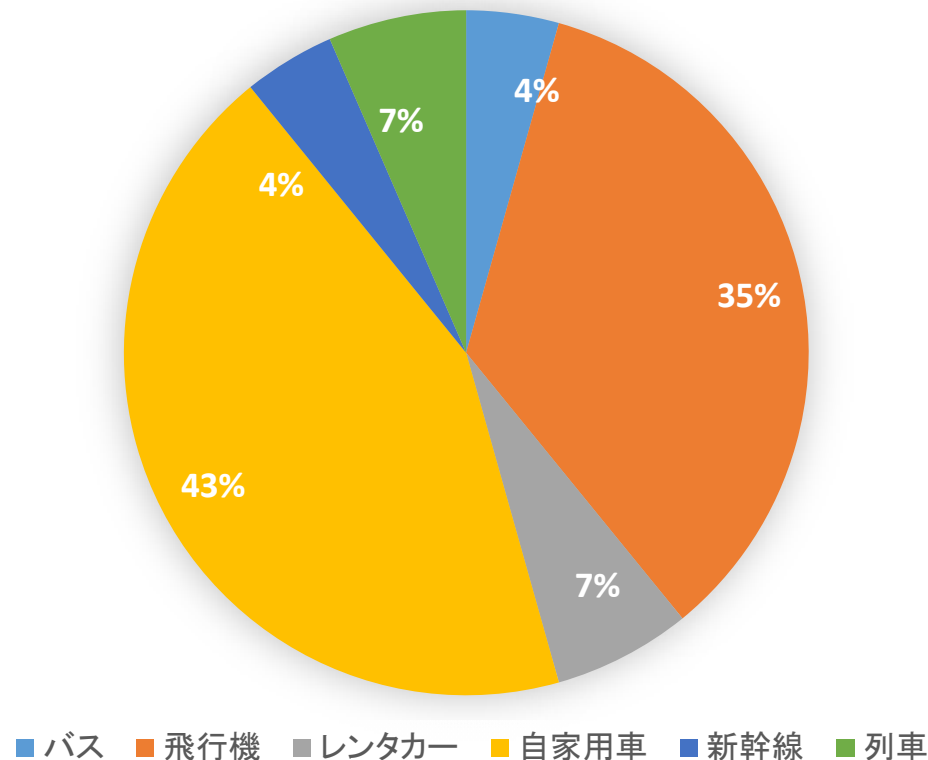


アンケート結果④ー1 出身県



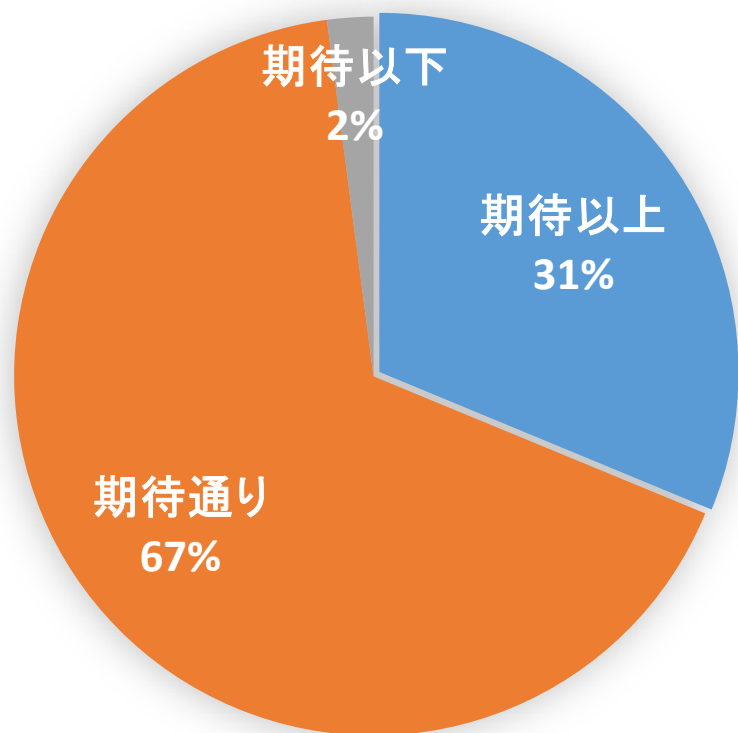
- 多いのは、19%の島根、14%の広島、岡山となっていること、また中国5県で53%をしめていることから、比較的近い地域から来る観光客が多い。
- 一方、関東地方24%、中部地方10%、関西地方5%と、遠方からの観光客も少なからず存在している。

アンケート結果④ー2 交通手段

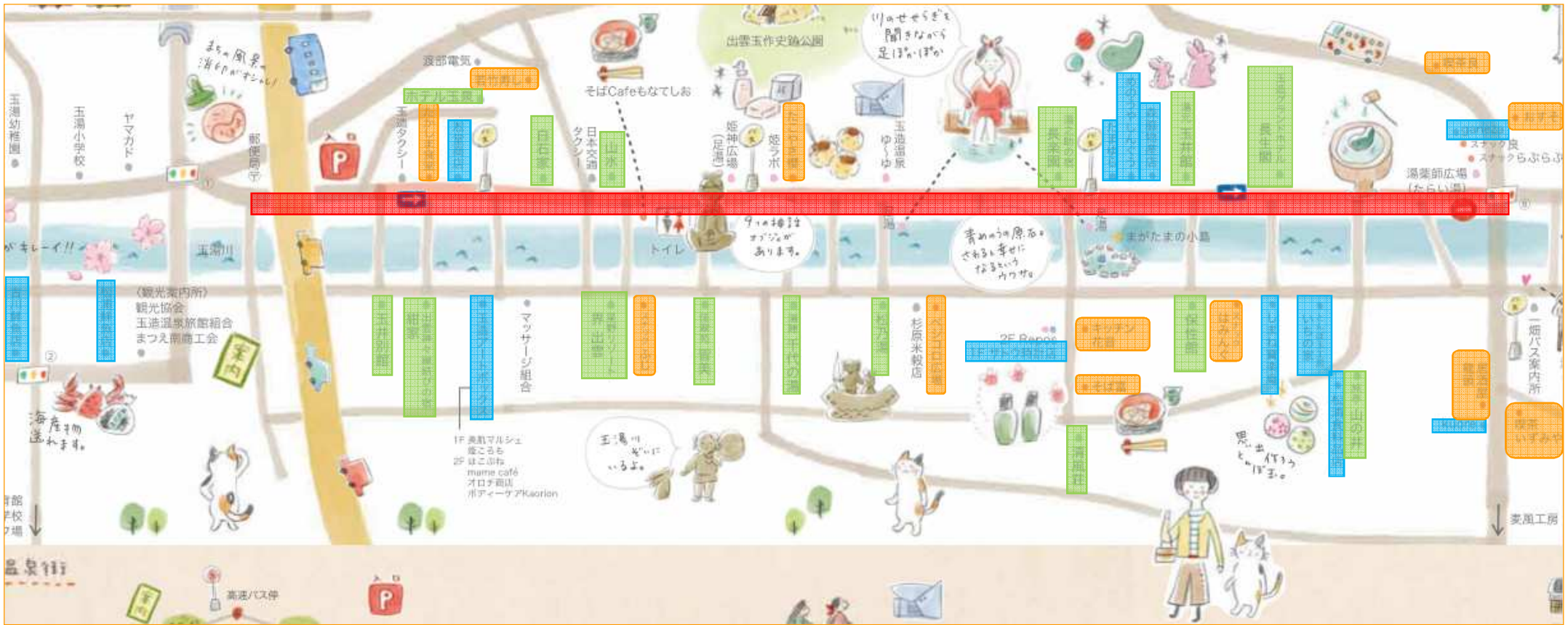


- 多いのは、自家用車43%、飛行機35%である。
- 比較的に近い地域から来る観光客は自家用車や鉄道など陸上交通を利用している。
- 対照的に、遠方からの観光客は飛行機などを利用している。

アンケート結果⑤ 玉造温泉に対する評価



- 「期待通り」が67%と3分の2をしめ、「期待以上」も31%をしめ、評価が高かった。
- 「落ち着く」、「きれい」といったものの一方で、「お店の数が少ない」という意見もみられた。



玉造温泉のマップ

<http://tamayado.com/map/>

青、オレンジ、緑で示されている箇所がそれぞれ土産屋、飲食店、ホテル。赤線はメインストリートを指す。

玉作湯神社について



玉作湯神社の概要

平安時代の『日本三代実録』にも名が記された古社である。背後の花仙山から豊富な赤・青・白の瑪瑙(めのう)、水晶を産出し、特に青瑪瑙は天下一品と称せられ珍重された。そのため、古代より政に使用する玉を製作してきた神社である。三種の神器の一つ八坂瓊勾玉(やさかにのまがたま)を製作したという言い伝えも残されている。

○御祭神

- ・櫛明玉神(くしあかるのたまのかみ)
八尺瓊勾玉など、宝玉御製作の祖神
- ・大名持神(おおなもちかみ)・小彦名神(すくなひこなのかみ)
当地温泉御発見・温泉守護・薬・秘呪の祖神
- ・五十猛神(いたけるのかみ)
同社座韓国伊太氏(からくにいたて)社・山林育成
・植林殖産・産業繁栄の祖神





出雲お社倶楽部

http://www2.izumo-net.ne.jp/oyashiro/2009/07/post_48.htm

玉作湯神社宮司の遠藤孝男さんに
聞き取り調査を実施しました。

参拝客の特徴

- ・20代前後の若い女性が多い。
- ・近年は温泉にお泊りの年配の方も増加。
(婦人会・町内会のマイクロバス旅行の利用が多いようである)



近年の参拝客数の変化

- ・2013年の出雲大社の遷宮のあたりから、参拝客が大きく増加した。
近年は2007年～2012年の松江開府400周年、2012年の古事記編纂1300年とイベントが続き、島根県自体が全国的に注目されていたためと考えられる。
- ・また、パワースポットブームも一因であると考えられる。

参拝客増加の取り組み

- ・玉造温泉全体が衰退していた**2008年**。
玉造温泉は、温泉街復活を目指して改革を開始した。
玉作湯神社は、以前から祀られていた真玉に「願い石」という呼称を付け、同時に「叶い石」を販売した。そして、この「願い石」と「叶い石」の二つによる新しい参拝方法を考案することで、参拝客数の増加を目指した。
- ・また、先代の宮司さんの時代までは宣伝を嫌っていたが、**旅行ガイドブック**などに掲載されていったことも、参拝客数増加に繋がったと考えられる。



玉作湯神社の参拝方法 ～叶い石の願掛けの仕方～

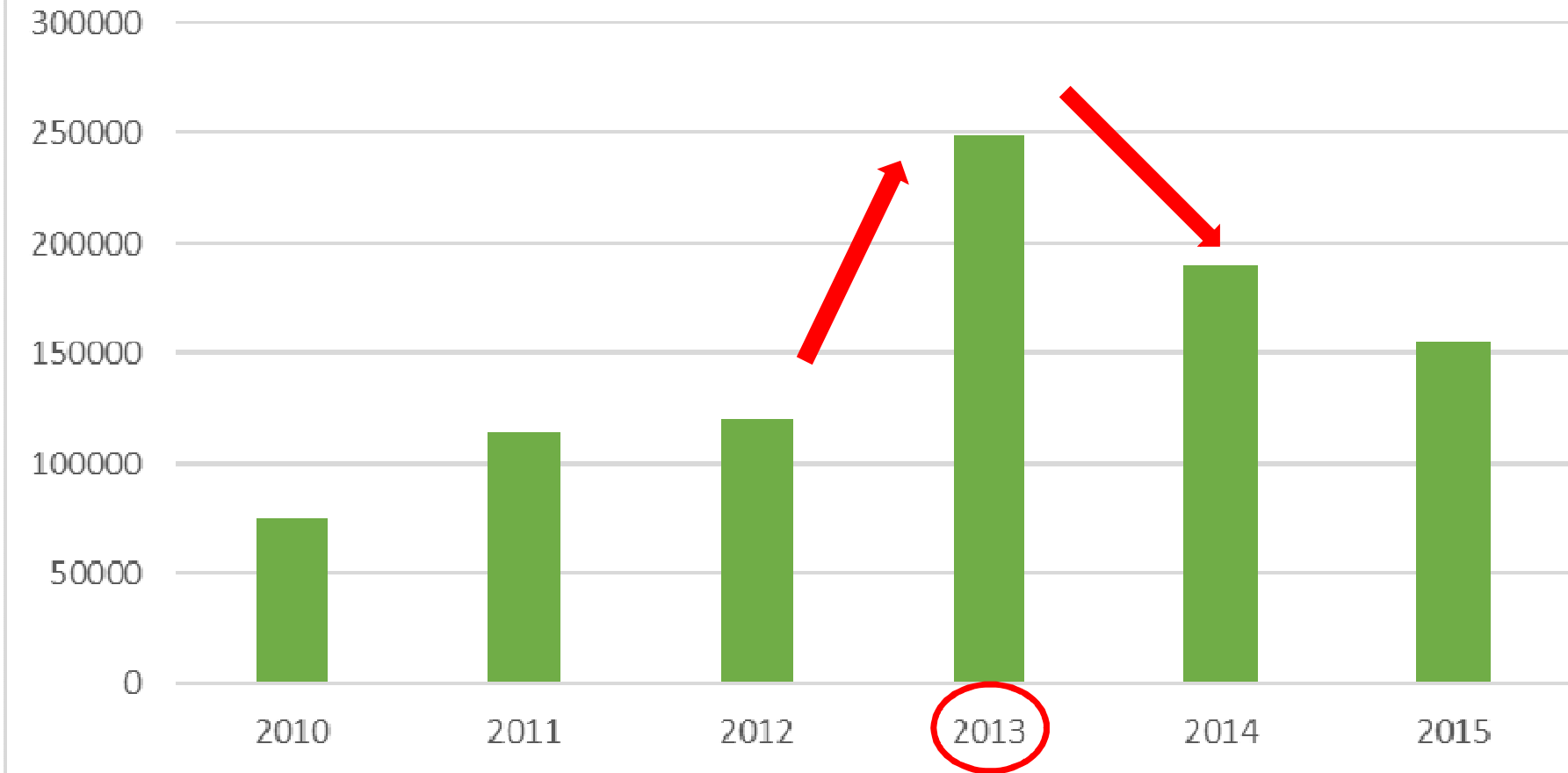
1. 境内にある手水で左手、右手、口を清める。
2. 御神水で願い石と叶い石を清める。
3. 叶い石を願い石にそっと当ててお願い事を祈る。
4. 願い札に祈った内容を記載する。
* 紙は二重となっており、一枚は賽銭箱の中へもう一枚は御守り袋へ



[http://img.www5.hp-ez.com/img/nakasa/014\(5\).jpg](http://img.www5.hp-ez.com/img/nakasa/014(5).jpg)

御神水

玉作湯神社の年別参拝客数の推移



データ: 島根県観光動態調査より

http://www.pref.shimane.lg.jp/tourism/tourist/kankou/chosa/kanko_dotai_chosa/

参拝客への対応

- ・自宅は社務所横にあり、参拝者の方々への対応も家族で行っている。

玉造温泉の旅館や観光協会との協力

- ・直接的に協力はしていないが、旅館にお泊りの方々にも気持ちよく参拝していただけるように努めている。参拝してよかったと感じていただきたい。北海道や東京など遠方から二度三度と来ていただけると、神社側もとても嬉しく感じている。
- ・また、ボランティアとして月に何度か、地区の方々が清掃や花の手入れを手伝ってくださる。

まとめ（聞き取り調査で分かったこと）

- ・玉作湯神社と玉造温泉が、歴史的にも深い関わりがあること。
- ・神社は、2008年頃に改革を始めた温泉と同じように、参拝客増加を目指して「参拝方法の提案」に見られるような独自の取り組みを行い大きな成果をあげた。
- ・出雲大社の遷宮の影響の大きさが玉作湯神社の参拝客数のデータから判明した。ただ、近年は参拝客数はやや減少傾向である。
- ・様々な取り組みを行い、美しい境内を守り続ける玉作湯神社は、温泉街の人々から永く愛されている。参拝客のリピーターも多い。



出雲お社倶楽部より
<http://www2.izumo-net.ne.jp/oyashiro/matsue/cat89/>



玉作湯神社での アンケート調査

2017年6月3日(土)

7月8日(土)

回答者数19人

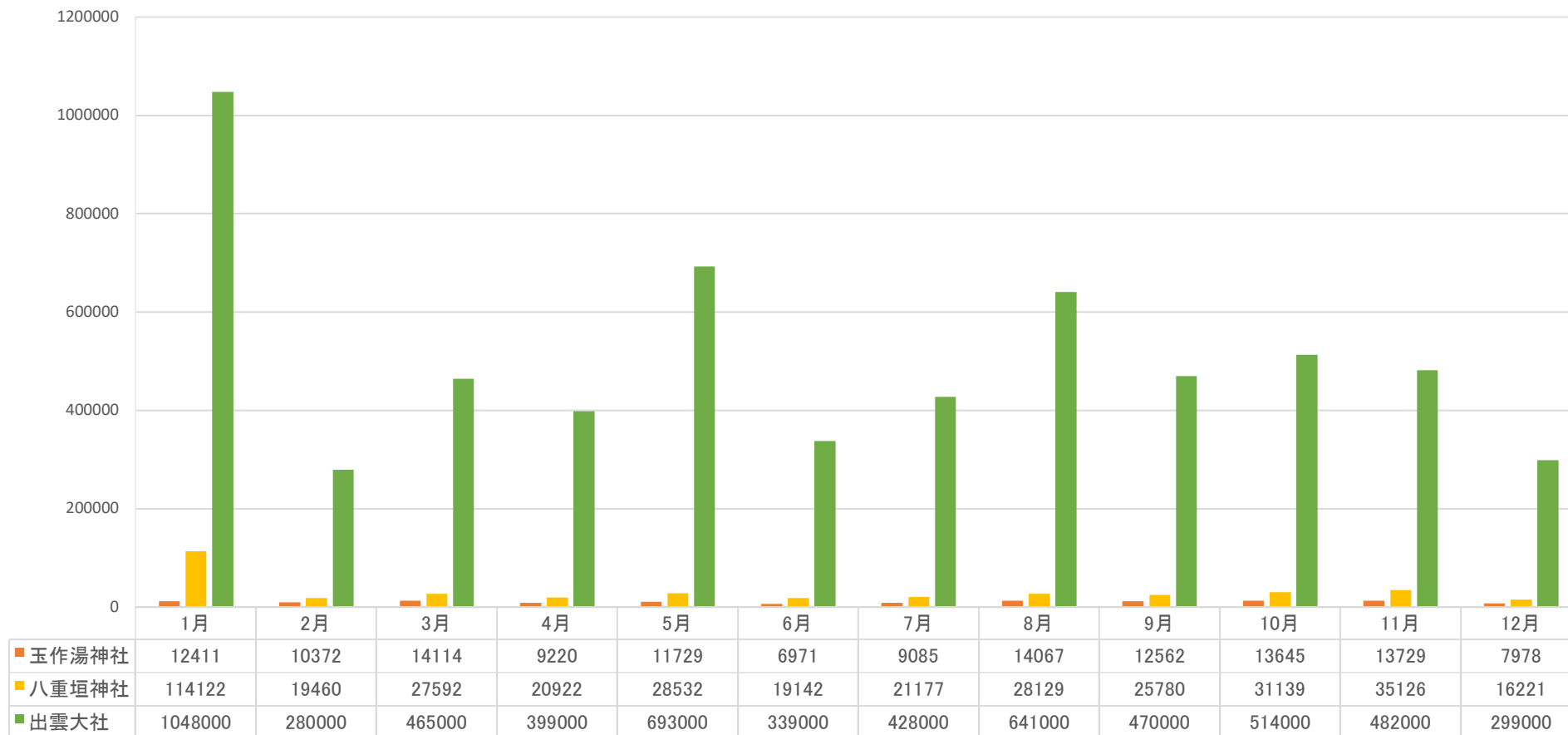
担当者

大庭麻未・大空ゆかり

岡田紀笑・佐竹竜弥

各神社の月別参拝客数の比較(2016年)

(島根県観光動態調査より作成)

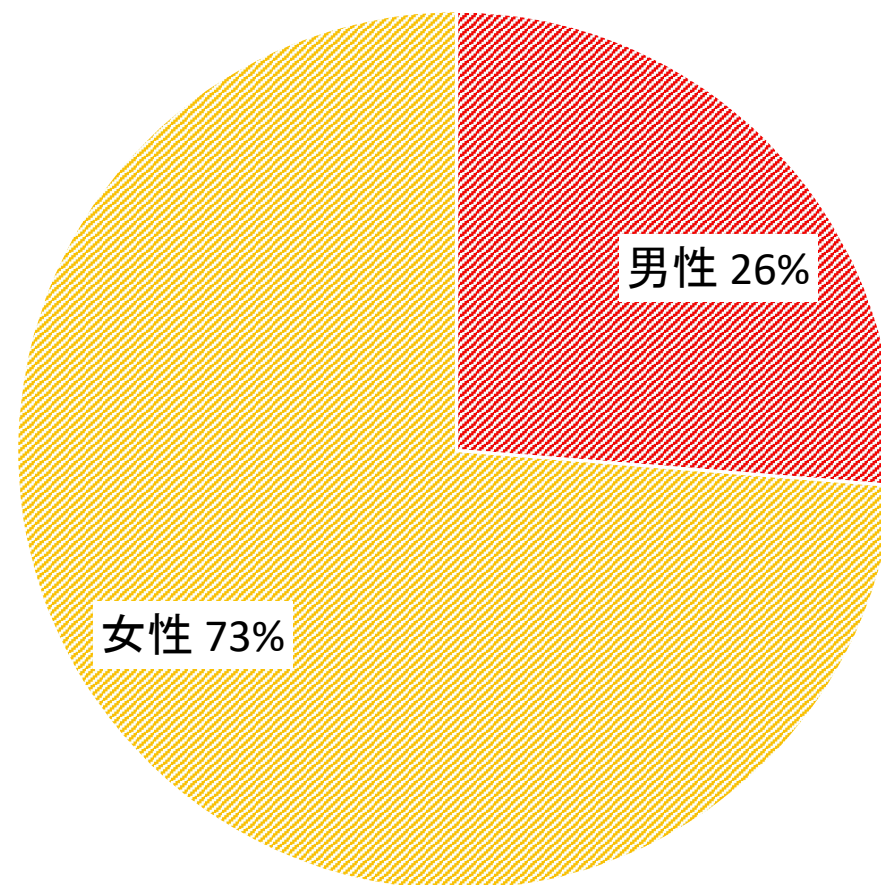


■ 玉作湯神社 ■ 八重垣神社 ■ 出雲大社

参拝客の性別

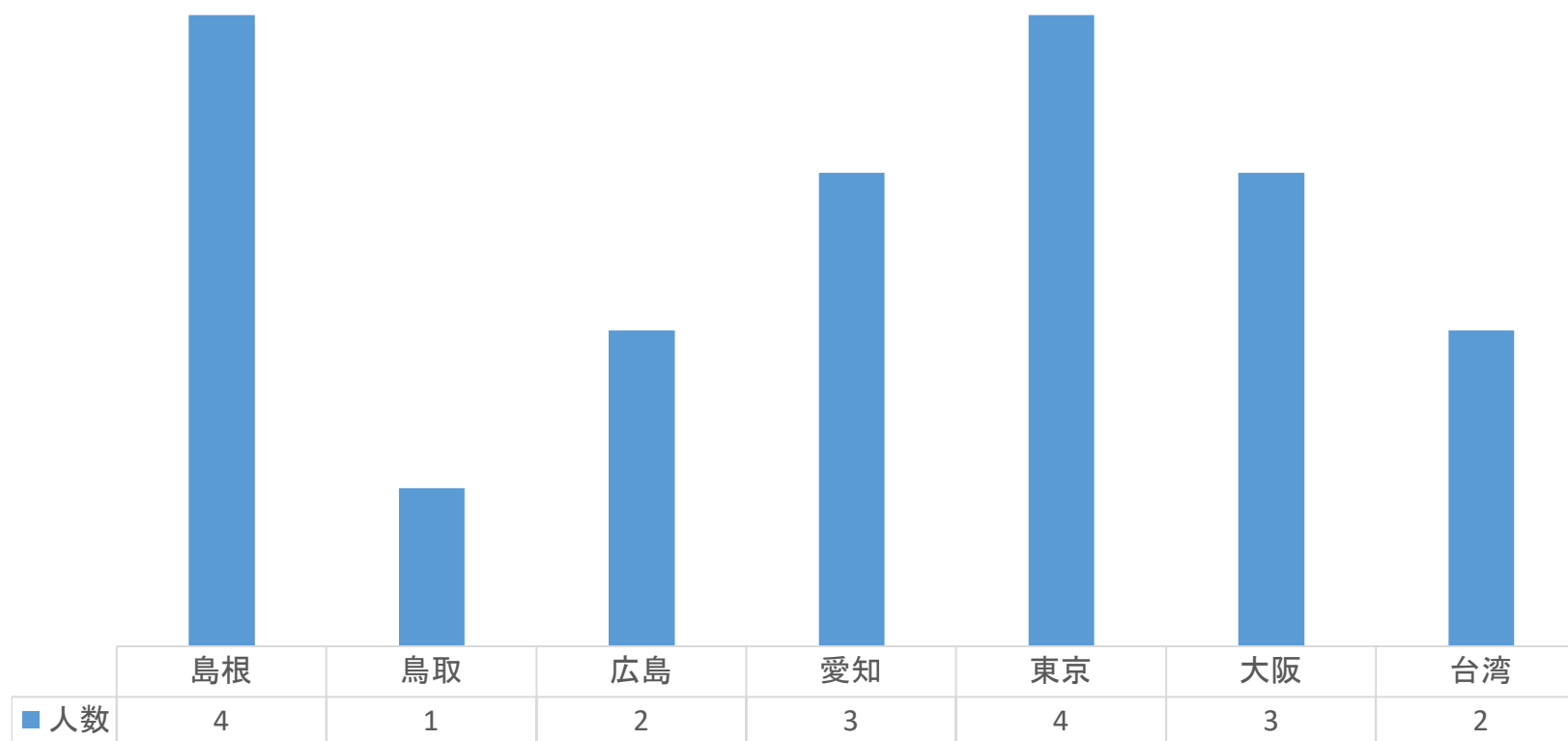
玉作湯神社
(2017年6月3日・7月8日)

温泉観光客へのアンケート
結果と同様、参拝客は女性が
圧倒的に多くなっている。



参拝客の出身都道府県・出身国（19名）

地元島根県だけでなく、東京・大阪・愛知・台湾など遠方からの参拝客も多い。

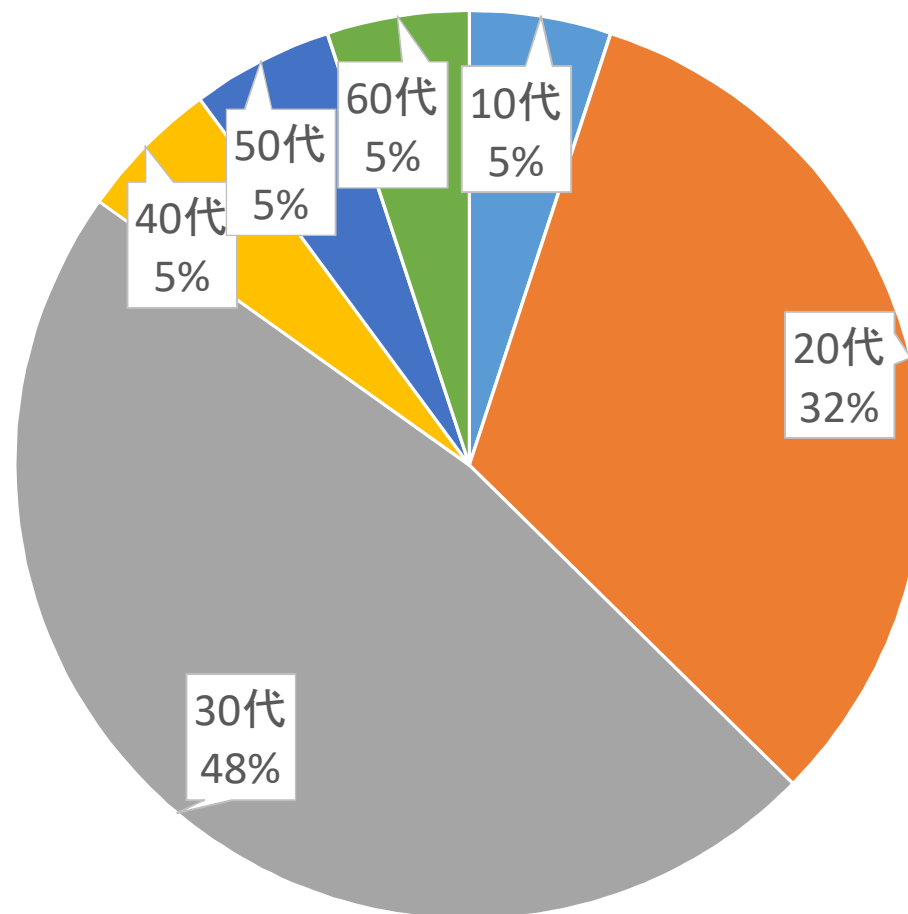


参拝客の年齢層

玉作湯神社

(2017年6月3日、7月8日、19名)

温泉観光客へのアンケート結果とは異なり、参拝客の年齢層は20代、30代が圧倒的に多くなっている。



観光客が玉作湯神社に参拝しに来た理由

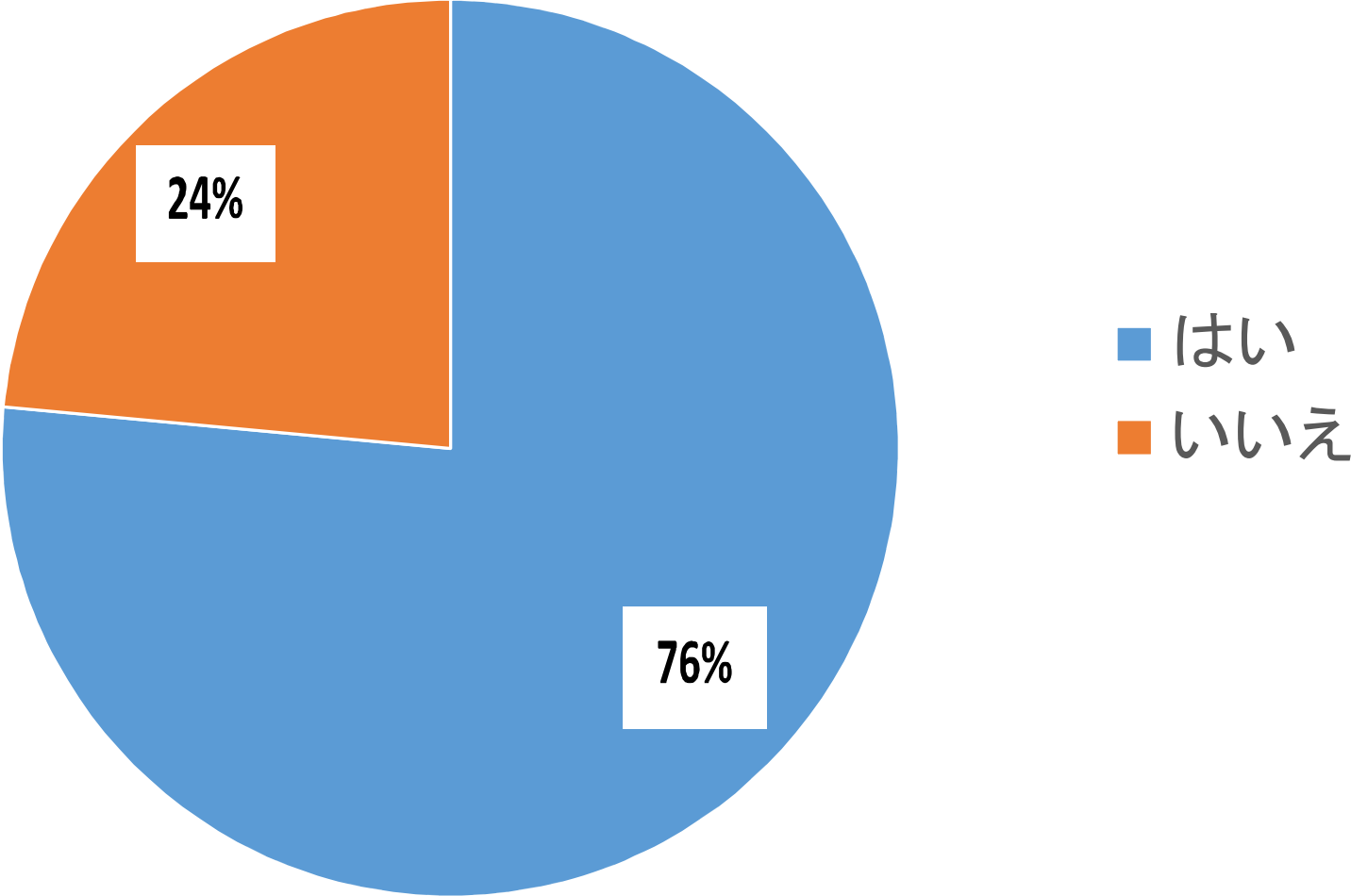
- 清巖寺(松江市玉湯町玉造)に行く途中で見かけたから。
- 島根県東部の観光(出雲大社、足立美術館)のついでに。
- 結婚記念日で玉造温泉に宿泊しに来たので、温泉周辺の観光で。
- 地元で暮らしていて、散歩がてらによく温泉に来たついでに。
- 日帰りで玉造温泉に来て、神社を見かけたから。
- 友人に勧められたから。
- ガイドブックを見て興味を持ったから。

清巖寺

- 臨濟宗妙心寺派に属する。山号は温泉山。
- おしろい地蔵の由来
顔のあざになやんでいた和尚さんがお地蔵様におしろいを塗って祈願したところ、あざが綺麗になおったことから。



叶い石の願掛けを知っているか(17名)



参拝した感想


肯定的な意見

- 面白い
- 落ち着いた雰囲気が良い
- パワーがあふれていて願い事がかないそう

要望

- 場所(トイレ・真玉のおいてある所)が分かりにくい
- もう少しアピールが必要
- 八重垣神社より小さく人を呼ぶのが大変そう
- 可愛いもの(御守り袋や御朱印長)を置いたほうがいい

まとめ

- 女性客・カップルが多かった  男性客は少ない
- 山陰地方の参拝客もみられたが(26%)、山陰地方以外の広島県、大阪府、愛知県、東京都、台湾からの参拝客(74%)も確認できた。
- 叶い石の願掛け方法は、知っている参拝客が多くいたが(76%)、知らない参拝客もいた(24%)。



山陰地方以外の国内外の参拝客がみられ、近年観光スポットや願掛けとしての知名度が高くなっていると考えられる。

改善が望まれる点

- 場所をはっきり示す

 トイレの看板を発見しやすくしたり、
願掛けのルートを示す看板を設置したりする

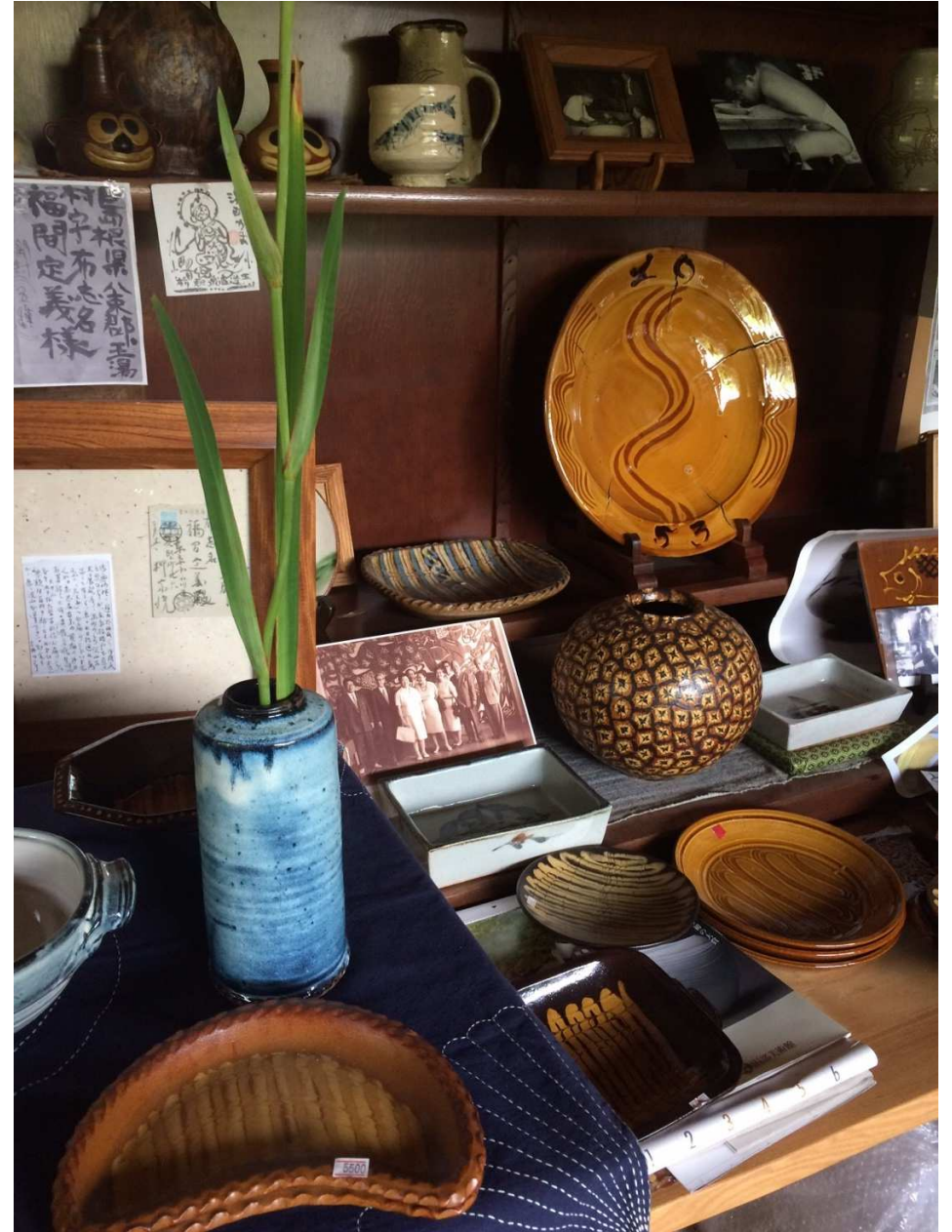
- 女性が好むデザインのグッズを置く

 可愛らしいデザインの御朱印帳を販売する

- カップルに向けて宣伝する

 男性参拝客の増加に繋がる

湯町窯



湯町窯とは

- ・湯町窯は、1922年（大正11年）創業の伝統ある窯元。
- ・JR玉造温泉駅から歩いて30秒ほどの場所で営業。
- ・玉湯町布志名の地で始まった焼き物、「布志名焼」を製作・販売している。
- ・湯町窯の陶器は、玉造温泉のお土産の一つとして大変有名。



グーグルマップより

湯町窯の職人である福間琇士さん・陽介さんにお話を伺いました



Q.布志名焼を作っている職人さんの人数は？

A.湯町窯の職人は3人、お手伝いさんをいれると5人。最盛期には12人いたこともあった。
昔は工房が5～6軒あり、人数もかなり多かった。

Q.購入者の年齢層は？

A.もともと年配の方が多かったが、最近のパワースポットブームで若い人、特に女性のお客さんが増えている。

Q.お客さんのために工夫していることは？

A.商品を見た目より軽く作ること。持ち帰る際の荷物の負担が大きくならないように心がけている。

布志名焼の特徴

- ・つるつるとした表面に、濃厚なからし色が主な特徴。
- ・海鼠釉(なまこゆう)と呼ばれる釉薬の調合によっては深い青色や、淡い白色も表現できる。
- ・陶器としては軽く、持ち運びやすい。
- ・ぽってりとした厚みと口当たりのよさが人気の秘密。





この布志名焼と湯町窯の歴史を
大きく変えた英国人がいた。

MUJIキャラバンより

<https://www.muji.net/lab/blog/caravan/shimane/020075.html>

バーナード・リーチ (1887ー1979)



- ・イギリスの陶芸家。
- ・生まれは香港。芸術家を志し、ロンドンの美術学校で学ぶ。1909年(明治42年)に日本へ渡航。陶芸に目覚める。
- ・河井寛次郎・柳宗理・浜田庄司らと日本の「民芸運動」に参加。世界の陶芸に大きな影響を与えた。

松本市美術館HPより

<http://matsumoto-artmuse.jp/exhibition/special/6332/>

リーチと湯町窯の出会い

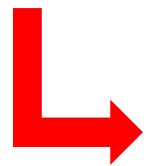
- ・布志名焼のからし色に注目
→イギリスにも似た色がある！興味を持つ。



日本民藝館HPより

<http://www.mingeikan.or.jp/collection/author01.html>

- ・1934年(昭和9年) リーチ、湯町窯を訪れる。
- ・その頃の湯町窯…湯呑など、昔ながらの日用食器を作っていたが
売上げは低迷。衰退気味だった。
- ・リーチはこの状況を打破するため、ある提案をした。



ティー・ポットやコーヒーカップを
作りませんか??

リーチから伝えられた技法

・ハンドルの付け方

西洋の食器にハンドル(持ち手)は不可欠。

リーチはハンドルの付け方について、「指一本が入るくらいに、木が生えていくように付けるんだ」と教えた。

・スリップウェア

英国で生まれた技法。ゴム製のスポイトに柔らかい粘土を入れ、陶器の表面に模様を描く。

日本でも竹筒を使う、似たような技法はあったが、スポイトを使うことで、さらに自由に模様が描けるようになった。



たまなびより http://www.tama-onsen.jp/tama_report/491

こうして 現在の布志名焼の姿に

湯町窯の看板商品 エッグベーカー



MUJIキャラバンより
<https://www.muji.net/lab/blog/caravan/shimane/020075.html>

リーチから伝えられたスリップウェア技法と、
先代の福間さんが考案した花柄の
コラボレーションが美しい小皿



湯町窯 まとめ

- ・湯町窯を語るには、バーナード・リーチという一人の陶芸家の存在が欠かせないことが分かった。布志名焼の温かみある美しさは、国を越えた陶芸家たちの交流によって生まれていた。
- ・リーチからの教えの「延長線」として、福間さんらは布志名焼の新たな表現を様々に追求、開発していた。現在も探求は続いている。
- ・リーチと湯町窯の陶芸家たちが行った布志名焼の改革は、9年前の玉造温泉変革の先駆けと言えるかもしれない。





玉造温泉について

まとめ

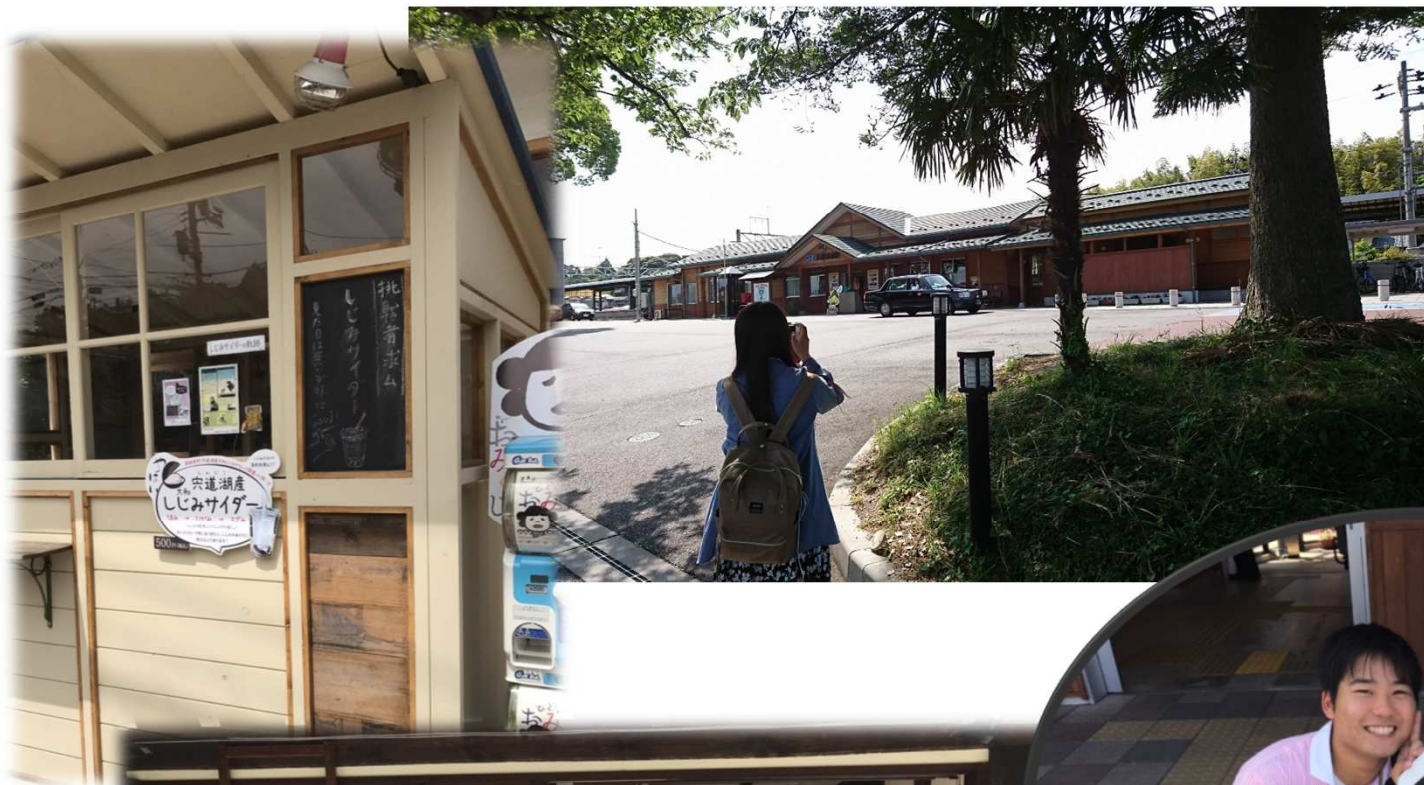


- 日本の名泉のひとつであるという地位を現在も失っていない。
- 温泉だけではなく様々な名産があり、見どころが多くある。
- 店舗数が少ないという課題はあるが、集客のために努力している店舗も存在する。

今後の課題



- 現在ある店舗を支援しつつ、新たな店舗を増やしていく。
- 業種の枠を超えて、町全体が一つになって、今以上に町おこしをして観光客を誘致、リピーターを増やす。



終